

いのはな山「石碑・彫像・文化財」マップ



1	千葉市立郷土博物館	1967(S47)小田原城をモデルとした城郭様建築として築造。鉄筋コンクリート造り4層5階建て、建築面積756㎡、高さ33m。	15	亥鼻公園、いのはな亭	1959(S34)歴史公園として整備、面積10,293㎡。1988(S63)茶室と庭園を整備し「いのはな亭」として開設した。
2	飛躍：千葉常胤銅像	2001(H13)建立。市制80周年と政令都市移行10年記念。彫刻制作：田畑功、碑文：吉田天行	16	加瀬完 碑	県内の小中学校長を歴任。後に参議院議員となり、教育の充実に尽力する。最後は参議院副議長になった。
3	藤島茶六句碑	藤島茶六(1901-1988)。昭和の時代に活躍した川柳作家。日本川柳協会の理事長を務める。千葉市在住40数年。	17	教育塔	教育関係者の慰霊碑、約18,000柱の名簿を合祀。毎年11月に慰霊祭が行われる。彫刻「冬の子」佐藤忠良作。
4	石器時代の砥石	世界最古の磨製石器は、群馬県岩宿遺跡から3~4万年前と推定の局部磨製石斧が出土	18	千葉大学教育学部跡記念碑	1874(M7)本町に千葉師範学校創設、1897(M30)亥鼻に移転、1962(S37)弥生町へ移転。彫刻「女」萩原守衛作。
5	千葉開府800年記念碑	1929(S4)建立。千葉常重が大椎城から移り館を築いた1126年から800年後に式典を行う	19	飛躍：浅見喜舟筆蹟碑	昭和時代の書家。1938(S13)書生会を結成、千葉県の書道協会、美術界の創設に尽くす。千葉大などの教授を務める。
6	千葉県殉難警察官の碑	1879年以降に殉職した警察官75人と1998年以降に水難救助等による殉難者4人が合祀されている。	20	房総の三歌人碑	県政百年を記念し建立。三歌人とは、伊藤左千夫、古泉千樞(ちかし)、吉植庄亮(しよりょう)。1973(S48)建立。
7	お茶の水	千葉氏は代々この水を産湯水に使用したといい、千葉常胤はこの水で源頼朝に茶を献じたという伝説がある	21	千葉県立中央図書館	1892(M25)県教育会館付属書籍館として開館、1968(S43)現地へ移転。大高正人の設計、日本の近代建築150選。
8	不動堂	清水(湧き水)と不動明王信仰が結びついて、不動堂が建てられたと考えられる	22	千葉大学附属第一小学校・歌碑	附属第一小学校(男子部)は、1987(M30)から1966(S41)まで亥鼻にあった。第二小(女子部)は四街道にあった。
9	神明社	猪鼻城の守護神として、千葉氏三代・忠常の世に鎮座され、八代・常胤の時に社殿を修築したと伝えられる	23	千葉県盲聾学校発祥之地碑	盲聾学校は1933(S8)師範学校の隣地に創設。碑は1987(S53)に建立。現在は県立盲学校と聾学校に分離。
10	杉本北柿句碑	1902(M35)生れ。奈良屋社長、千葉商工会議所会頭を務める一方、県美術会の創設など文化事業にも尽した。	24	千葉県文化会館	1967(S42)開館。建築面積8,161㎡。大高正人の設計で日本建築学会賞。斜面の自然に調和するようなデザイン。
11	出羽三山碑など	月山、羽黒山、湯殿山は出羽三山と呼ばれ、江戸時代より東北や関東などから多くの一般庶民が参詣に訪れた。	25	千葉文化の森碑文	いわれ深いこの地を文化の森と呼び、文化会館など諸施設を配置し、県民の文化教育と憩いの場にあてる…。
12	猪鼻城址碑	1959(S34)亥鼻山一帯(七天王塚含む)が千葉市文化財第1号(記念物「史跡」)として指定された。	26	道標：ブロンズ像	柳原義達(1919-2004)、昭和～平成時代の彫刻家。鳩や鴉など鳥シリーズが有名。
13	原爆犠牲者慰霊碑	1979(S54)建立、千葉県在住及び所縁の被爆者で亡くなった方を名簿登録(合祀)し奉納している。	27	女・夏：ブロンズ像	佐藤忠良(1912-2011)、昭和～平成時代の彫刻家。生き生きとした女性像などをブロンズや木彫で表現した。
14	土塁跡	亥鼻公園を中心とする猪鼻城址の主郭周囲に本格的な土塁が残るが、主郭内では建物跡は確認されていない。土塁から鎌倉時代の蔵骨器が出土しており、墓地があったと推定される。	28	千葉開府850年記念碑	1976(S51)記念式典が行われ翌年に建立された。碑表は「知ろう、愛そう、つくろう郷土千葉」。裏面には千葉市の歴史に輝く22人顕彰者氏名が刻まれている。
	智光院 真言宗豊山派	1456年に千葉家の内乱を経て千葉家を相続した馬加康胤によって建立されたといわれ、本尊は不動明王。七天王塚やお茶の水の不動尊を管理していたといわれる。		胤重寺 浄土宗	千葉常胤の孫・武石胤重の菩提のため建てられたといわれ本尊は阿弥陀如来。門内左側に「塩地藏」と呼ばれるイボトリ地藏がある。塩でイボをなでるとイボが取れるといわれる。

【千葉氏とは】桓武天皇の曾孫・高望王の子・平良文を始祖とする関東の名族で、中世に房総半島北部を中心に活躍した。1126(大治元)年に常重が上総国大椎(緑区)から下総国千葉庄に移り、その地名を苗字とした。常重の子・常胤が、源頼朝の鎌倉幕府創設に大きく貢献した功績により、上総・下総のほか全国20数か所の所領を得るとともに下総国守護となった。以来、1455(康生元)年に千葉宗家が滅ぶまでの約330年間大きな勢力を持ち続け、その間に今日の千葉市の礎が築かれた。

【文化の森とは】千葉大学教育学部(旧千葉師範学校)跡、亥鼻公園、護国神社跡などいわれ深い土地(6.22ヘクタール)を「文化の森」と呼び、千葉県文化会館、聖賢堂、県立中央図書館、駐車場、庭園、千葉市郷土館を総合的に配置し、県民の文化教育と憩いの場とする。文化会館・聖賢堂の建設費15億2792万円(用地、造園費含む)